



テアトル9ニュース

お芝居大好き！九条の会
2015年6月17日 第63号

お芝居大好き！九条の会～テアトル9 って何??

2004年、井上ひさし、大江健三郎等9名の著名人が日本国憲法九条を守る「九条の会」を結成。その呼びかけに応え、演劇鑑賞会の会員有志で2005年「お芝居大好き！九条の会～テアトル9」を作りました。

月1回世話人会を持ち、ニュースを発行しています。興味のある方は、一緒にしませんか？下記世話人までご連絡を！

文化座 佐々木愛 さんの講演会決定！



戦後70年 劇団の今、未来を語る

日時: 11月8日(日) 14時00分～

参加費: 1,000円

会場: 未定

※ 会場は現在調整中、決まり次第お知らせします。



戦争法案～この国のあり方は私達自身が決めるべきこと！！

皆さんは、「戦争法案」をご存じですか？そうです。今、国会で審議されている安保法制のことです。昨年7月1日、集団的自衛権の公使を容認するという閣議決定がなされました。この閣議決定を改めて読んでみると、集団的自衛権の行使容認以外にも、これを機に、平時の自衛隊の任務における武器使用権限を拡大したり、他国軍の後方支援の範囲を拡大したりすることを一気にやっってしまうおつもりです。この閣議決定を受け、これまでの安全保障法制が全面的に改められるということになるのですが、この5月14日には、また閣議決定がなされ、国会に提出される安全保障法案の中身が明らかになりました。法案の名前は、「国際平和支援法案」と「平和安全法制整備法案」です。「平和安全法制整備法案」は現行の10の法律の改正案を一括した法案です。この法案、とても複雑難解です。理解するのはかなり時間がかかります。これを今国会で成立させようとする自体馬鹿げています。法案の中身を知ると、日本国憲法が掲げる恒久平和主義に反することがわかります。これまで憲法9条によって守られてきた一定の歯止めが、現政権主導のもと、難なく外され、それによって守られてきた自衛隊員の命、私達の戦争を知らない平穏な日々が奪われようとしていることがわかります。憲法は国家権力を縛るものであるという立憲主義という考え方に真っ向から反するやり方で、私達の国のあり方が大きく変わり、私達の自由や権利が侵害されようとしています。さあ、皆さん、とにかく学習しましょう。エッセンスだけを理解すれば十分です。(国会議員ですら絶対に事細かに理解出来ていません。)そして、広げましょう。何としても、まずは、今国会での法律の成立を阻止することに向けて、当面は力を注ぎましょう！！(ポリジ 坂本知可)

戦後70年特別企画 前進座公演「南の島に雪が降る」

7月17日(金)14時00分開演

神戸文化ホール(中) 5,000円

☆「憲法九条にノーベル平和賞を」の署名が100筆集まりましたので、実行委員会の方へ送付しました。昨年されていない方は是非お願いします！！

お芝居と平和 『今はどんな時代？』

ハーモニー 広沢正雄

戦争が終わる直前の昭和20年春、3月から5月にかけて東京の下町一帯は空爆を受け焼け野原となり、12万以上の市民が死亡、神戸でも9千人の命が亡くなりました。70年経った今年の春、東京大空襲を舞台とした二つの芝居を観ての私の想いです。

劇団アルファによる『櫻の國の傳説』は偏見と差別を受けながらも御国のために竹槍や防火訓練をしていた障害を持つ子供たちの物語です。大空襲の夜、逃げ惑う市民たちの中であって、純粋な子供たちは自発的に教えられた通り、バケツリレーによって火を消しながら、炎にのまれてゆきます。

Ring-Bongによる『闇のうつつに我は我かは』暗黒の時代に表現の自由を奪われた芸術家たちの物語です。大空襲により多くの仲間達が亡くなりますが、敗戦の廃墟の中で一つの命が生まれます。その命が死んでいった者たちの想いを伝える美術館を造り、守っています。しかし、毎年のように訪れていた学校からのキャンセルが最近は続くのでした。

少しずつ、いや急速に、時代が変化しているのでは、今は『冬の時代の前夜』かもしれません。こんな時代ですから、過去を学び、闇のうつつ（現実）を我れ自覚的に生きてゆく大切さを感じます。『歴史は前にある。未来は背中にある』という堀田善衛さんの言葉をかみしめながら、二つの芝居を振り返りました。

注) 劇団アルファは作家、時風静恵が所属する学校巡回公演を積極的に行っている劇団です。Ring-Bongは文学座の若き女優、山谷典子が脚本を手がける演劇集団です。

新劇人も声をあげる！

1960年安保闘争以来、新劇人が『憲法9条を壊す『戦争立法』…に反対する』の声をあげました。全国各地での市民の声、国会包囲行動には25,000人、200人を超える憲法研究者、「学者の会」は2700人と戦争法案反対の声は大きく広がり、8割の国民が、今国会での成立に反対してきています。子や孫、ひ孫たちに平和を引き渡すために、平和憲法を大切にする私たちの声を、さらに、さらに、つなげ、広げていきましょう。



本の紹介

月刊誌『世界』 岩波書店発行

1945年12月創刊。戦後70年一貫して、日本の“良心”として、時代に歴史に、人間に真摯に向き合ってきた雑誌。

5月号には沖縄の現状と未来についての翁長雄志沖縄知事と寺島実郎さんとの対談。6月号では、歴史認識の在り方について、村山談話、河野談話の村山富市氏と河野洋平氏の対談が載っています。

800円で頭脳が新鮮に、情報が正確になります。(米田)

例会場「テアトル9コーナー」

にお立ち寄りください！

テアトル9グッズのプラバン、また賛同者の方にはニュースをご用意しています。カンパも大歓迎！ ご連絡は下記まで

児玉 090-8209-2391

米田 090-8658-8579

谷中 090-2101-4579

田中 090-8493-3378



お知らせ



引き続き「辺野古」にカンパを！

前号のニュースで辺野古への支援カンパを募ったところ、2日間(4月例会場)で17,506円が集まりました。その直後に、沖縄で「新基地建設反対名護共同センター」が「辺野古基金」を開設。早速テアトル9から17,500円を送金しました。ご協力、ありがとうございました。

共同センターから5月17日県民大会(3万5千人参加)のニュースと辺野古の海を紹介したDVD「美ら海辺野古」(17分)を送ってきてくれました。ニュースは6月例会場テアトルコーナーに掲示します。また、DVDについては、テアトル9の集まりで見たいと考えています。

全国に呼びかけられたこの「辺野古基金」は、6月7日時点で、3億2千万を超え、その内の7割ほどが沖縄県外から寄せられたものだそうです。引き続き、テアトル9でもカンパを募りたいと思っています。

例会場のテアトル9コーナーには是非お立ち寄り下さり、ご協力をお願い致します。(Y.K)